



津山誠心会議

津本辰己

「地域公共交通整備対策について」

質問↓「ごんごバス」の路線延長・変更を求める声が多くあるが、乗客の絶対人数が確保されない地域において、「行政と地域」の協働による、デマンド方式が有効であり「目的の地までの送迎」

「バス停まで中継」する等、デマンド方式と既存バス路線との併用策が「地域交通網の整備」にとって有効な方策であると思うがどうか。
答弁↓バス路線の見直しにあたっては、利用者予測・スムーズな乗り継ぎ等を検証したうえで計画策定に取り組む。地域公共交通を各地域の足として残していくためには、ボランティア有償運送などの「地域と行政が一体」となった取り組みが重要になると思う。また、地域住民の相互扶助による、有償運送に対する「助成制度」の枠組みを考えたい。

市政に対する一般質問

九月議会では、八日（月）から十二日（金）

の五日間にわたって、二十四人の議員が質問をしました。原稿は質問をした議員が要旨をまとめ、写真やイラストは、質問内容にちなんだものを議員が各自持ち寄りました。



ジェネリック医薬品で医療費が安くなる！

公明党津山市議員

原 行則



市長↓患者負担の軽減、医療費の抑制に

質問↓医療費負担軽減のため新薬と有効成分が同じで価格が二割から七割と安いジェネリック医薬品（後発薬）の普及促進に取り組むべきでは。

効果があるので、積極的に取り組んでいる国の動向を踏まえ、進める。
質問↓津山市の環境・温暖化対策、また、その啓発活動の現状は。

市長↓今年度事業として「津山市地球温暖化対策地域推進計画」を策定する等の作業を進めている。

環境福祉部長↓温暖化対策・啓発活動は、「グリーンカーテン普及・エコドライブ啓発・クールビル事業」の三事業に取り組んだ。

質問↓津山市の外国人児童・生徒数は。教育長↓三十名ほど全員就学。日本語指導のスクールヘルパーを配置している。

二十一年度は総社・川崎線完成による城東の新しい街づくりを！

政津クラブ

高橋 誠



整備中の総社・川崎線

質問↓道路特定財源が継続確保となった、今後の駅前整備計画はどうか。新洋学資料館が来年度オープン、バスの駐車場の確保はできないか。福祉バス、ごんごバ

スの国の補助対象事業は何を考えているのか。県の財政危機宣言に伴い、大規模修繕費を県が持つとした「覚書」の整理はどう図るのか。

答弁↓本年度、まちづくり協議会、本市、道路管理者、交通事業者からなる研究会を設置する。バス駐車場の整備を含め、城東地区の街づくりについて十分調査研究にかかりたい。バスルートや運行体制整備を図るため、総合連携計画、活性化・再生総合事業計画を策定する。「覚書」及び管理にあたっての「取り決め」は有効と認識、この認識のもと、県の果たす役割を明確にしていきたい。